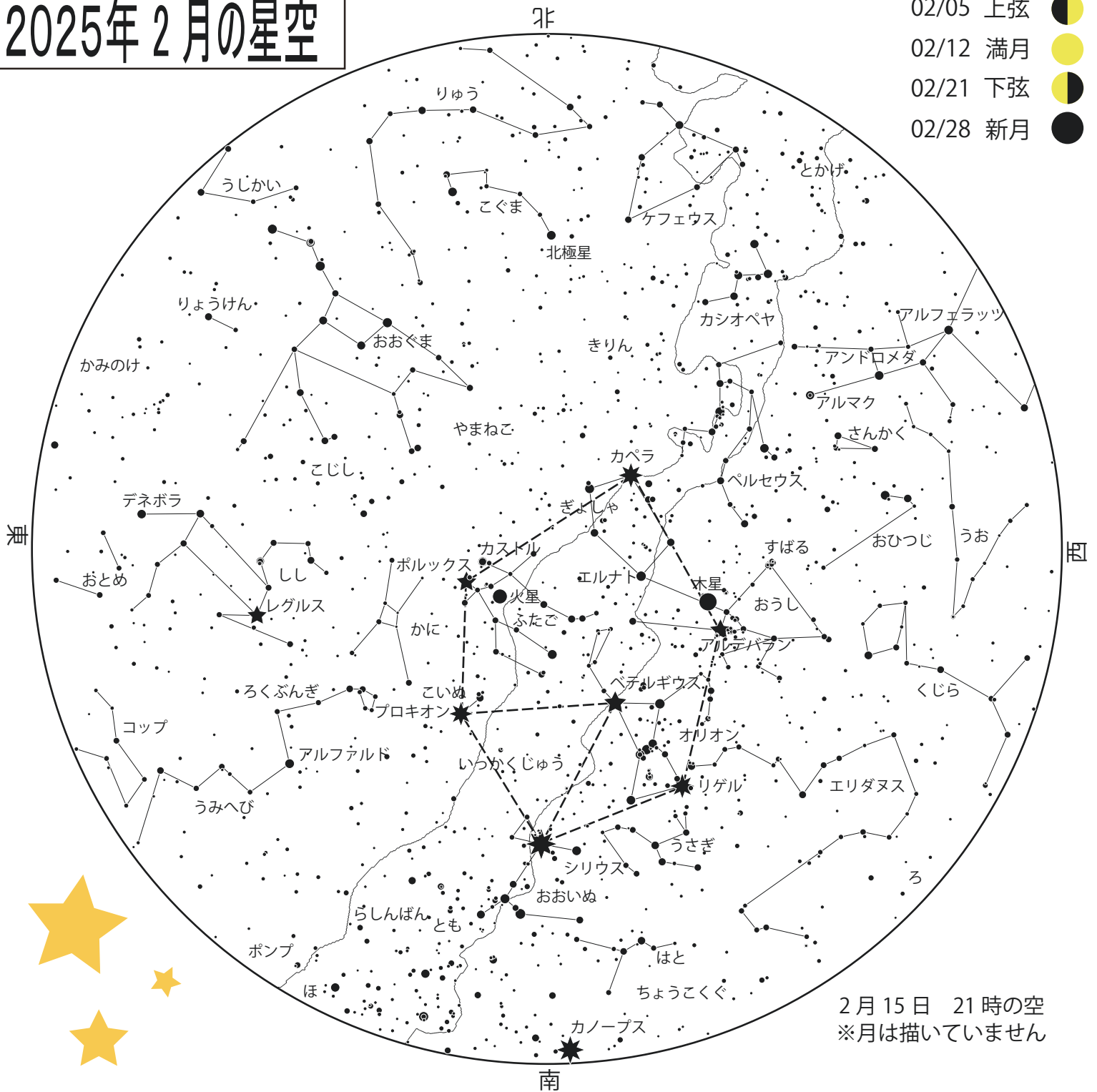


姫路で見る 2025年2月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

02/05 上弦 
02/12 満月 
02/21 下弦 
02/28 新月 



2月の星空は、色鮮やかな冬の星座たちと彩りを添える多くの1等星で賑やかですが、今年は明るい惑星たちも集まっていて、例年以上に豪華です。

日が暮れると西の空には**金星**が輝いていて、2月15日に最大光度(-4.9等)になります。夜になると**金星**は西に沈み、南西の空で薄黄色の**木星**(-2.4等)、南東の空で赤く不気味に光る**火星**(-0.7等)が存在感を放っています。**木星**からやや低い所にある橙色の星は**おうし座**の**アルデバラン**で、V字型をした牛の顔にあり、青白い星が集まった「**散開星団**」の**プレアデス(すばる)**は盛り上がった肩を作っています。**おうし座**と向かい合っているのが**オリオン座**で、リボンを縦にしたような星の並びの中で、赤い**ベテルギウス**と青白い**リゲル**が目立っています。**ベテルギウス**とおおいぬ座の白い**シリウス**、こいぬ座の黄色い**プロキオン**を結ぶと、「**冬の三角形**」になります。空高くでは**火星**が**ふたご座**の中を動いていて、傍で橙色の**ポルックス**と白い2等星の**カストル**が仲良く輝いています。天頂からやや北寄りには黄色の**カペラ**があり、周りの五角形の星の並びが**ぎょしゃ座**です。

まだ冷え込む時期ですが、晴れた日にはあでやかな星空を眺めてみてはいかがでしょうか。